

I 第45週の発生動向 (2009/11/2~2009/11/8)

1. インフルエンザについては、県内すべての保健所管内において**警報**または**注意報**が発令されています。
2. 伝染性紅斑については、上十三保健所管内において**警報**が発令されています。

II 第45週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 <small>(前週からの増減)</small>	東地方(再掲)		青森市(再掲)		保健所名	定点数				
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点		数	定点	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科
小児科 内科 (85) インフルエンザ	606	43.3	582	38.8	315	22.5	153	21.9	703	78.1	171	28.5	2,530	38.9	95	46	23.0	560	46.7						
小児科 (74) RSウイルス感染症	4	0.4	8	0.9	5	0.6	5	1.0	1	0.2			23	0.5	-3			4	0.5						
(75) 咽頭結膜熱	1	0.1	2	0.2							1	0.3	4	0.1	-2			1	0.1						
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	0.3	7	0.8	6	0.7	2	0.4	3	0.5	8	2.0	29	0.7	4	1	1.0	2	0.3						
(77) 感染性胃腸炎	20	2.2	13	1.4	4	0.4	5	1.0			6	1.5	48	1.1	-5	4	4.0	16	2.0						
(78) 水痘	23	2.6	17	1.9	2	0.2			7	1.2	2	0.5	51	1.2	8			23	2.9						
(79) 手足口病	1	0.1	2	0.2					6	1.0	4	1.0	13	0.3	-4	1	1.0								
(80) 伝染性紅斑	1	0.1			1	0.1	1	0.2	11	1.8			14	0.3	-5			1	0.1						
(81) 突発性発しん	7	0.8	3	0.3	4	0.4	3	0.6	6	1.0	3	0.8	26	0.6	11	1	1.0	6	0.8						
(82) 百日咳															0										
(83) ヘルパンギーナ	2	0.2	1	0.1									3	0.1	-3			2	0.3						
(84) 流行性耳下腺炎	8	0.9	1	0.1	1	0.1	1	0.2			1	0.3	12	0.3	7			8	1.0						
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															0										
(87) 流行性角結膜炎	1	0.5	1	0.3									2	0.2	-3			1	0.5						
基幹 (95) マイコプラズマ肺炎					1	1.0							1	0.2	-2										
東地方	2	1	1	0	0																				
弘前	15	9	6	3	1																				
八戸	14	9	5	2	1																				
五所川原	7	5	2	1	1																				
上十三	9	6	3	2	1																				
むつ	6	4	2	1	1																				
青森市	12	8	4	2	1																				
合計	65	42	23	11	6																				

は警報、は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出数は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患)：弘前4人、八戸1人、上十三2人

(21年計：286人)

(73) 麻しん(五類全数把握疾患)：上十三1人(検査診断例)

(21年計：10人)

IV 病原体検出情報

・病原体検出情報はありませんでした。

過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

感染症の窓

感染性胃腸炎

(五類定点把握疾患)



図 全国及び青森県における届出数推移 (第45週現在)

感染性胃腸炎は、冬季に多いとされるノロウイルスなどのウイルスによる場合や細菌など原因は多様であり、例年12月以降に増加する傾向にあります(図)。10月下旬、静岡市の保育園において園児21人がおう吐、下痢を症状とするノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生が報道発表されています。ノロウイルスは、経口的に感染し、ヒトの腸管で増殖、おう吐、下痢、腹痛などを起こします。通常は軽症で回復しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化することがあるため、注意が必要です。感染予防には以下のことが重要です。

1. 食事前やトイレの後などは、**手洗いを励行**。
2. 下痢やおう吐等の症状がある方は、**食品を直接取り扱う作業をしない**。
3. 胃腸炎患者に接する方は、患者のふん便や吐ぶつを適切に処理し**感染を拡げない**。

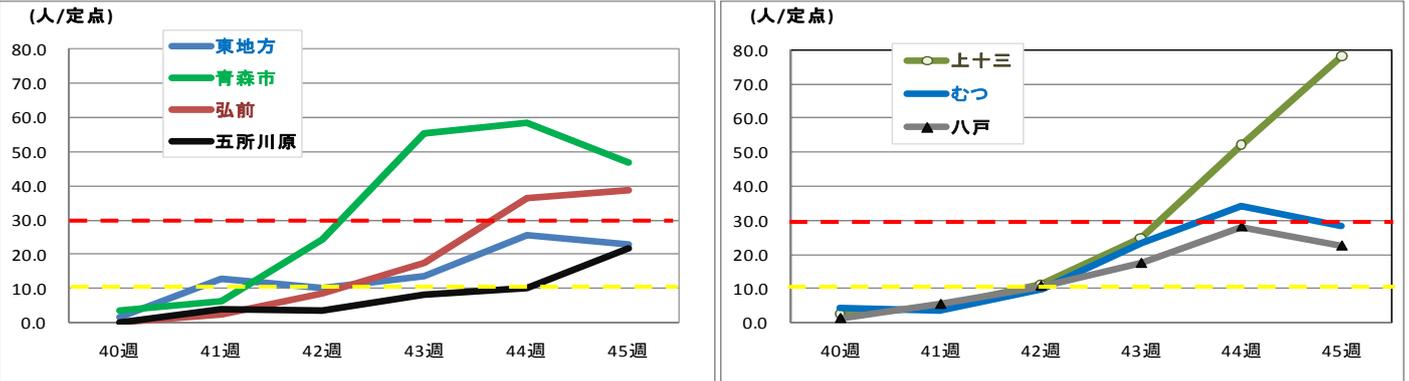
V インフルエンザ情報 (注:届出数は速報値です)

- ・青森県全体の届出数は2,530人(95人増)です。
- ・**警報発令**保健所管内:東地方+青森市、弘前、上十三、むつ
- ・**注意報発令**保健所管内:八戸、五所川原

V-1 迅速診断キットによる型別は以下の通りです。

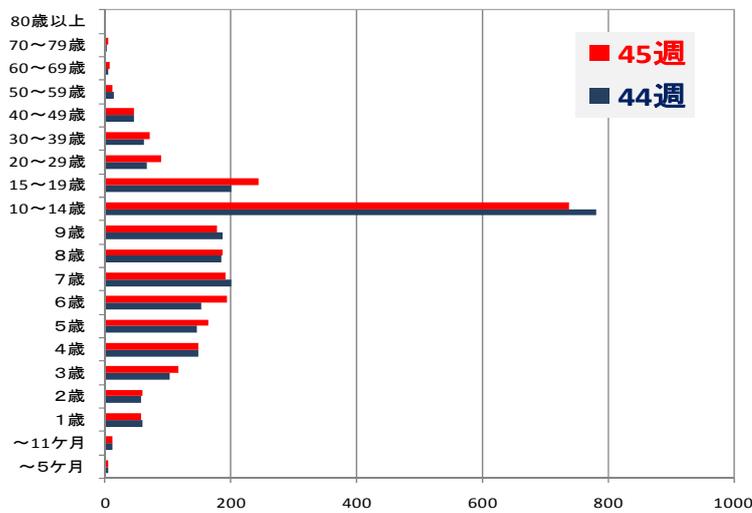
	東地方	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ	青森市
インフルエンザ報告数	46	582	315	153	703	171	560
A型	46	582	230	153	656	167	544
B型	0	0	2	0	0	4	0
不明	0	0	83	0	47	0	16

V-2 保健所管内別の定点あたり届出数推移



・警報開始基準値は30人/定点(図赤破線)、終息基準値は10人/定点、注意報開始レベルは10人/定点(図黄色破線)です。

V-3 年齢別構成 (2週比較) 単位:(人)



(青森県保健所管内マップ)



V-4 全国比較 (2009年35週~45週)

